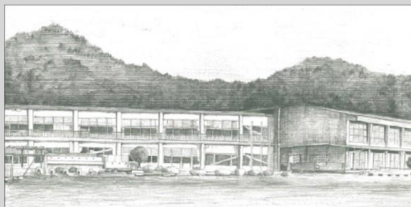


まるやま



2019年度
森町立天方小学校
令和元年12月24日

NO.10

令和元年が、無事終了します。

御家庭・地域の皆様からのご支援、本当にありがとうございました。

12月10日(火)のロング昼休み、「にこにこ健康委員会」による“全校遊び”が行われました。天方小の子供たち38名の良さを、じんわりと感じられるとてもよい“全校遊び”でした。



遊びの内容は、“こおり鬼”。子供たちが考えたものですが、職員の打合せの中では、「えっ、ロング昼休みに“こおり鬼”やるの?」「鬼、ずっと走り続けて体力もたないんじゃないの?」

「ケイドロとかの方がいいんじゃないの?」

“こおり鬼”とは、鬼がタッチすると凍って動けなくなります。しかし凍っていない子供がタッチすると凍って動けなかった子供も氷がとけて動けるようになる。そんな遊びです。鬼はせっかくタッチしても、凍っていない子が凍った子を助けてしまうので、ずっと走り続けなければいけません。ロング昼休みは1時間、きっと体力が持たなくなってしまう遊びとして成立しなくなるのではと考えていたわけです。

しかし、いざ実施してみると、低学年は3回タッチされた子は鬼になる。高学年は2回。というルールをしていたり、1年から6年までの走力の差を微妙に手加減していたりして、上手に遊びが成り立つような工夫がありました。また、学校で行う鬼遊びにありがちなのは、走るのが苦手な子が、最初からあきらめて逃げずにいたり、鬼になっても一生懸命追わなかったりして遊びが成り立たなくなってしまうことがあるのですが、そんな姿は、天方小の子供たちには一人もありません。38名が本当に楽しく遊んでいました。

天方小学校の子供たちは、絶妙なあんばいで集団の和を成立させようとする力があります。低学年の子供には低学年の接し方で、かといって遠慮しているばかりでなく、自分も楽しみながら和を成立させようとする力。

教師は、ついつい、やる前から「転ばぬ先の杖」的な考えをもってしまいますが、子供たちの力を信じることの大切さを感じるとともに、天方小学校の子供たちの良さを再認識する機会となりました。

令和元年も終わります。子供たちの良さをじっくりと見つめながら令和2年度の教育計画を考えていきたいと思えます。

令和元年、御家庭・地域の皆様。子供たちの成長を陰になりひなたになり、支えてくださり本当にありがとうございました。

令和2年もよろしくお願いいたします。